

平成19年度追跡評価（流動促進研究プログラム）アンケート調査票 ～研究機関用～

平成9年から平成12年にかけて募集され、3年から5年の期間を研究期間として実施された、科学技術振興調整費による「流動促進研究」プログラムについての追跡評価に向けて、次のアンケートにご協力をお願いします。設問と選択肢、そしてコメント記入欄から成っていますが、各設問の趣旨につきましては選択肢をご覧いただいて判断いただきますようお願いいたします。

<基礎情報>

1. 基礎情報として次の項目にお答えください。

a. 機関名をお示しください：

b. 貴研究所の研究員数についてお答えください

本研究プログラム「流動促進研究」開始前の年である平成9年について：

常勤の研究員総数 名（内、任期付き研究員 名）

非常勤の研究員総数 名

本研究プログラム「流動促進研究」がはじまった年である平成16年について：

常勤の研究員総数 名（内、任期付き研究員 名）

非常勤の研究員総数 名

c. 現在、外国籍の任期付き研究員の人数は、常勤の任期付き研究員（上記の任期付き研究員に相当）の何割程度ですか。

() 約 () 割

() 一割未満

() 居ない

<採用形態について>

2. 博士号を取得している研究員（常勤研究員）の採用形態の変化についてお伺いします。

a. 平成9年度の新規採用形態で多い順に番号をつけてください。

また、具体的な人数データがありましたら、記入してください。

（もし、平成9年度の人数データが得られない場合には、平成8年あるいは平成7年のデータでも結構です。なお、平成8年、あるいは7年のデータをお示しいただく場合には、1.の基礎情報にも、同じ年の研究者数をお示しください。）

() 定年制研究員（一般公募） (平成9年 人)

() 定年制研究員（自研究所の非常勤職員から） (平成9年 人)

() 定年制研究員（他所の定年制職員のヘッドハンティング） (平成9年 人)

() 任期付き研究員 (平成9年 人)

() その他（具体的に項目の例を：） (平成9年 人)

b. 貴機関にて本プログラム「流動促進研究」に課題が最初に採択された年次の新規採用形態で多い順に番号をつけてください。 また、具体的な人数データがありましたら、記入してください。

（最初に採択された年次が平成9年の場合には、上記a.にお答えいただき、このbには回答の必要はありません）

() 定年制研究員（一般公募） (平成 年 人)

() 定年制研究員（自研究所の非常勤職員から） (平成 年 人)

() 定年制研究員（他所の定年制職員のヘッドハンティング） (平成 年 人)

() 任期付き研究員 (平成 年 人)

() その他（具体的に項目の例を：） (平成 年 人)

() 海外籍の研究員採用の増加につながった

() 海外に研究員として移るケースの増加につながった

() 海外留学あるいは派遣される機会の増加につながった

() 海外の機関間研究員との交流の促進につながった

() その他（具体的に：）

（コメント：）

iv（有効でなかった）とお答えの機関にお尋ねします。 その選択理由について可能であればお示し下さい。

()

c. 研究員の流動化に：

i () 有効であった

ii () まずまず有効であった

iii () 多少の効果はあった

iv () 有効でなかった

i-iiiとお答えの機関にお尋ねします。どのような点で効果があったとお考えですか（複数選択可）。

() 他研究機関（大学、企業等を含む）出身の研究者の増加につながった

() 他研究機関（大学、企業等を含む）に転出（異動）する研究者の増加につながった

() 他研究機関（大学、企業等を含む）との間での人事交流の促進につながった

() 他研究機関（大学、企業等を含む）の研究者との交流促進につながった

() 機関内において部門間またチーム間における人事交流の促進につながった

() 機関内において部門間またチーム間における研究上の交流促進につながった

() 機関内において研究者間の交流促進につながった

() その他（具体的に：）

（コメント：）

iv（有効でなかった）とお答えの機関にお尋ねします。どのような理由で効果がなかったとお考えですか（複数選択可）。

() 任期満了後、研究所で再任用することが多いため

() 任期付き研究員の採用数が少ないため

() その他（具体的に：）

d. 機関の人事制度改革に：

i () 有効であった

ii () まずまず有効であった

iii () 多少の効果はあった

iv () 有効でなかった

i-iiiとお答えの機関にお尋ねします。どのような点で効果があったとお考えですか（複数選択可）。

() テンユア・トラック制度（若手研究者が、任期付きの雇用形態で自立した研究者としての経験を積み、厳格な審査を経て安定的な職を得る仕組みをいう。）の構築につながった

() その他（具体的に：）

（コメント

）

e. 開かれた競争的研究環境構築に：

i () 有効であった

ii () まずまず有効であった

c. 平成16年度の新規採用形態で多い順に番号をつけてください。

また、具体的な人数データも御記入してください。

() 定年制研究員（一般公募） (平成16年 人)

() 定年制研究員（自研究所の非常勤研究員から） (平成16年 人)

() 定年制研究員（他所の定年制研究員のヘッドハンティング） (平成16年 人)

() 任期付き研究員 (平成16年 人)

() その他（具体的に項目の例を：） (平成16年 人)

d. 貴機関にて本プログラム「流動促進研究」に採択された課題の修了年次における新規採用形態で多い順に番号をつけてください。 また、具体的な人数データがありましたら、記入してください。

（修了年次が平成16年の場合には上記c.にお答えいただき、このdには回答の必要はありません）

() 定年制研究員（一般公募） (平成 年 人)

() 定年制研究員（自研究所の非常勤職員から） (平成 年 人)

() 定年制研究員（他所の定年制職員のヘッドハンティング） (平成 年 人)

() 任期付き研究員 (平成 年 人)

() その他（具体的に項目の例を：） (平成 年 人)

3. 現在、任期付研究員の採用は定着しましたか。 平成16年以降を念頭にお答えください。

() 新規採用の一般的な形態として定着した（毎年 人程度採用／定年制研究員は 人程度採用）

() 採用形態の一部として定着した（毎年 人程度採用／定年制研究員は 人程度採用）

() 採用形態の一つとして時折採用（年 人程度採用／定年制研究員は 人程度採用）

() 定着していない（任期付き研究員を殆ど採用していない）

() その他（具体的に：）

関連して何かコメントがありましたらお書き下さい（

）

<機関に対するメリットについて>

4. 任期付き研究員採用は、研究所にまた周囲にどのような影響がありましたか

a. 研究所の活性化に：

i () 有効であった、

ii () まずまず有効であった

iii () 多少の効果はあった

iv () 有効でなかった

i-iiiとお答えの機関にお尋ねします。どのような点で効果があったとお考えですか（複数選択可）。

() 論文・発表等成果が向上した () 研究所内研究員間の交流が促進された

() 他研究機関との交流が促進された () 他研究機関との共同研究が増加した

() 競争的資金獲得が増加した () 外部資金（非競争的）獲得が増加した

() 研究所の国際化に有効であった () 定年制職員の活性化に有効であった

() 優秀な人材獲得に有効であった

() その他（具体的に：）

（コメント：

）

b. 研究員の国際化に：

i () 有効であった

ii () まずまず有効であった

iii () 多少の効果はあった

iv () 有効でなかった

i-iiiとお答えの機関にお尋ねします。どのような点で効果があったとお考えですか（複数選択可）。

iii () 多少の効果はあった

iv () 有効でなかった

i-iiiとお答えの機関にお尋ねします。どのような点で効果があったとお考えですか（複数選択可）。

() 任期付き研究員の任期満了時における定年制職員への採否に向けて、研究評価が行われるようになった

() 任期付き研究員の任期満了時の定年制職員への採否に向けて、審査基準が設定された

() 新規採択において任期付き研究員として、その能力を問う期間を設定するシステムが定着した。

() 評価に向けた（種々）システムが整備された

() 審査に向けた（種々）システムが整備された

() その他（具体的に：）

（コメント：

）

f. 独創的研究の創出に：

i () 有効であった

ii () まずまず有効であった

iii () 多少の効果はあった

iv () 有効でなかった

i-iiiとお答えの機関にお尋ねします。どのような点で効果があったとお考えですか（複数選択可）。

() 競争的環境により独創的な研究の実施につながった

() 独創的研究を目指す機運が高まった

() 独創的研究を推進するべく、システムの整備が行われた

() 学会賞などにつながる独創的研究が増加した

() 海外より講演などに招聘される独創的研究につながる研究が増加した

() その他（具体的に：）

（コメント：

）

iv（有効でなかった）とお答えの機関にお尋ねします。どのような理由で有効でなかったとお考えですか（複数選択可）。

() 任期が短く、じっくり研究できないため

() 研究予算が十分でないため

() 上司から独立して研究できないため

() 論文数主義に走るため

() その他（具体的に：）

（コメント：

）

g. 若手研究者の育成に：

i () 有効であった

ii () まずまず有効であった

iii () 多少の効果はあった

iv () 有効でなかった

i-iiiとお答えの機関にお尋ねします。どのような点で効果があったとお考えですか（複数選択可）。

() 論文発表数の増加（成果の拡大） () 研究レベルの向上

() 発表スタイルの向上 () 研究員間の交流の推進

() 共同研究の増加 () 独創的研究の推進

- () 論文発表など成果を発表しようとする意識の増大
() テニユアトラック制度につながった
() その他（具体的に：)
(コメント：)
- h. 外部研究機関との交流促進に： i.()有効であった
ii.()まずまず有効であった
iii.()多少の効果はあった
iv.()有効でなかった
- i-iii とお答えの機関にお尋ねします。どのような点で効果があったとお考えですか(複数選択可)。
() 外部研究機関研究員との討議の増加につながった
() 外部研究機関との共同研究の増加につながった
() その他（具体的に：)
(コメント：)
- i. 機関内において、研究員間の交流促進に： i.()有効であった
ii.()まずまず有効であった
iii.()多少の効果はあった
iv.()有効でなかった
- i-iii とお答えの機関にお尋ねします。どのような点で効果があったとお考えですか(複数選択可)。
() 機関内において研究員間の研究上の討議の増加につながった
() 機関内において研究員間の共同研究の増加につながった
() その他（具体的に：)
(コメント：)
- j. その他、任期付き研究員採用が組織にもたらしたメリットと考えられる点について
下記に自由にお挙げ下さい。
()
5. 本「流動性促進研究」プログラムの実施は組織（研究所）にどのような影響を与えましたか
- a. 任期制研究員数の向上に： i.()有効であった
ii.()まずまず有効であった
iii.()多少の効果はあった
iv.()有効でなかった
- i-iii とお答えの機関にお尋ねします。どのような点で効果があったとお考えですか(複数選択可)
() 機関における任期付き研究員採用のきっかけとなった
() 機関における任期付き研究員採用動機となった
() 機関における任期付き研究員の認知度を高めた
() その優れた成果より、任期付き研究員採用の増加につながった
() 任期付き研究員志望者数が増加した
() 任期付き研究員応募のきっかけ（要因）となった
() その他（具体的に：)
- お考えですか（複数選択可）。
() 任期満了後、研究所で再任用することが多いため
() 任期付き研究員の採用数が少ないため
() その他（具体的に：)
- e. 機関の人事制度改革に： i.()有効であった
ii.()まずまず有効であった
iii.()多少の効果はあった
iv.()有効でなかった
- i-iii とお答えの機関にお尋ねします。どのような点で効果があったとお考えですか(複数選択可)。
() テニユア・トラック制度（若手研究者が、任期付きの雇用形態で自立した研究者としての経験を積み、厳格な審査を経て安定的な職を得る仕組みをいう）の構築につながった
() 研究員の評価制度確立につながった
() 研究員の審査制度確立につながった
() 任期付き研究員の処遇に関する制度確立につながった
() 研究員全体の処遇改善につながった
() 研究員一般の人事制度改革につながった
() その他（具体的に：)
(コメント：)
- f. 開かれた競争的研究環境構築に： i.()有効であった
ii.()まずまず有効であった
iii.()多少の効果はあった
iv.()有効でなかった
- i-iii とお答えの機関にお尋ねします。どのような点で効果があったとお考えですか(複数選択可)。
() 本プログラムへの応募に関し、機関内において課題の推薦プロセスがシステムとして構築された（競争のプロセス）
() 本プログラムの実施に伴い、任期付き研究員の任期満了時における定年制職員への採否に向けて、審査が行われるようになった
() 本プログラムの実施に伴い、任期付き研究員の任期満了時の定年制職員への採否に向けて、審査基準が設定された
() 新規採択において任期付き研究員として、その能力を問う期間を設定するシステムが定着した。
() 波及効果として、評価に向けた（種々）システムが整備された
() 波及効果として、審査に向けた（種々）システムが整備された
() その他（具体的に：)
(コメント：)
- g. 独創的研究の創出に： i.()有効であった、
ii.()まずまず有効であった
iii.()多少の効果はあった
iv.()有効でなかった
- i-iii とお答えの機関にお尋ねします。どのような点で効果があったとお考えですか(複数選択可)。
() 研究費の支給により、自身の独創的なアイデアで自由に研究を実施し得る環境を与えた
- b. 研究所の活性化に： i.()有効であった
ii.()まずまず有効であった
iii.()多少の効果はあった
iv.()有効でなかった
- i-iii とお答えの機関にお尋ねします。どのような点で効果があったとお考えですか(複数選択可)。
() 論文・発表等成果の高まりにつながった
() 研究所内研究員間の交流頻度の増加につながった
() 他研究機関との交流頻度の増加につながった
() 他研究機関との共同研究の増加につながった
() 競争的資金獲得の増加につながった
() 外部資金（非競争的）獲得の増加につながった
() 研究設備の整備につながった
() その他（具体的に内容をお書きください：)
(コメント：)
- c. 研究員の国際化に： i.()有効であった
ii.()まずまず有効であった
iii.()多少の効果はあった
iv.()有効でなかった
- i-iii とお答えの機関にお尋ねします。どのような点で効果があったとお考えですか(複数選択可)。
() 海外籍の研究員採用の増加につながった
() 海外に研究員として移るケースの増加につながった
() 海外留学あるいは派遣される機会の増加につながった
() 海外の機関また研究員との交流の増加につながった
() その他（具体的に：)
(コメント：)
- d. 研究員の流動化に： i.()有効であった
ii.()まずまず有効であった
iii.()多少の効果はあった
iv.()有効でなかった
- i-iii とお答えの機関にお尋ねします。どのような点で効果があったとお考えですか(複数選択可)。
() 他研究機関（大学、企業等を含む）出身の研究者の増加につながった
() 他研究機関（大学、企業等を含む）に転出（異動）する研究者の増加につながった
() 他研究機関（大学、企業等を含む）との間での人事交流の促進につながった
() 他研究機関（大学、企業等を含む）の研究者との交流促進につながった
() 機関内において部門間またチーム間における人事交流の促進につながった
() 機関内において部門間またチーム間における研究上の交流促進につながった
() 機関内において研究者間の交流促進につながった
() その他（具体的に：)
(コメント：)
- iv. (有効でなかった)とお答えの機関にお尋ねします。どのような理由で効果が無かったと
- () 研究費の支給により、周囲の支援を得つつ独創的な研究を実施し得る環境を与えた
() 独創的研究実施に向けた研究環境（研究費、育成体制）をもたらした
() 独創的研究を目指す機運が高まった
() 独創的研究を推進するべく、システムの整備が行われた
() 学会賞などにつながる独創的研究が増加した
() 海外より講演などに招聘される独創的研究につながる研究が増加した
() その他（具体的に：)
(コメント：)
- iv.(有効でなかった)とお答えの機関にお尋ねします。どのような理由で有効でなかったとお考えですか（複数選択可）。
() 任期が短く、じっくり研究できないため
() 研究予算が十分でないため
() 上司から独立して研究できないため
() 論文数主義に走るため
() その他（具体的に：)
(コメント：)
- h. 若手研究者の育成に： i.()有効であった
ii.()まずまず有効であった
iii.()多少の効果はあった
iv.()有効でなかった
- i-iii とお答えの機関にお尋ねします。どのような点で効果があったとお考えですか(複数選択可)。
() 論文発表数の増加（成果の拡大） () 研究レベルの向上
() 発表スキルの向上 () 研究員間の交流の推進
() 共同研究の増加 () 独創的研究の推進
() 論文発表など成果を発表しようとする意識の増大
() 設備等研究環境のベースの構築につながった
() テニユアトラック制度につながった
() その他（具体的に：)
(コメント：)
- i. 外部研究機関との交流促進に： i.()有効であった
ii.()まずまず有効であった
iii.()多少の効果はあった
iv.()有効でなかった
- i-iii とお答えの機関にお尋ねします。どのような点で効果があったとお考えですか(複数選択可)。
() 外部研究機関研究員との討議の増加につながった
() 外部研究機関との共同研究の増加につながった
() その他（具体的に：)
(コメント：)
- j. 機関内において、研究員間の交流促進に： i.()有効であった、

- ii.() ますます有効であった
iii.() 多少の効果はあった
iv.() 有効でなかった

i~iii とお答えの機関にお尋ねします。どのような点で効果があったとお考えですか(複数選択可)。

- () 機関内において研究員間の研究上の討議の増加につながった
() 機関内において研究員間の共同研究の増加につながった
() その他 (具体的に:)
(コメント:)

- k. 設備・機器の整備に: i.() 有効であった、
ii.() ますます有効であった
iii.() 多少の効果はあった
iv.() 有効でなかった

(コメント:)

- l. その他、本「流動促進研究」プログラムの実施が組織にもたらしたメリットと考えられる点について下記に自由にお挙げ下さい。
()

<任期付き研究員制度の定着に対する本プログラムの貢献度>

6. 任期付き研究員制度の定着に、本プログラムがどの程度寄与しましたか。

- i.() 寄与した
ii.() ますます寄与した
iii.() 多少の寄与はあった
iv.() 全く寄与していない

i. ~ iii. とお答えの機関にお尋ねします。どのような点で寄与したとお考えですか(複数選択可)。

- () 任期付き研究員採用のきっかけとなった
() 任期付き研究員採用の動機付けとなり採用数を高めた
() 任期付き研究員制度について機関内の認知度を高めた
() 任期付き研究員に採用に向けて、機関内の制度検討につながった
() 任期付き研究員への応募の要因となり任期付き研究員志望数の増大につながった
() 優れた実績につながり、任期付き研究員の採用数を高めた
() その他 (具体的に:)
(コメント:)

<その他>

7. 本「流動促進研究」プログラムについて、優れていたと思われる点をお教え下さい (複数選択可)。

- () 予算額が大きいこと
() 予算の使い方において自由度が高いこと
() 研究期間が長いこと
() その他 (具体的に:)

8. 本「流動促進研究」プログラムで配慮が望まれた点をお教え下さい (複数選択可)。

- () 予算額が少ないこと
() 予算の使い方において自由度が少ないこと
() 研究期間が短いこと

() その他 (具体的に:)

9. 本「流動促進研究」プログラムは、課題が採択された任期付き研究者一人あたりについて年間1500万円を3~5年間支給する制度でした。貴組織におかれましては、本プログラムの効果的な運用に向けて、工夫をされましたか。(例: 研究スペースの優先的配分、事務仕事(雑用)の軽減、等)

() はい、() いいえ
(はい、とお答えの場合、具体的にその内容についてお示しください:)

10. 貴機関にて任期付き研究員システムの定着また効果的な運用のために行われている工夫についてお教え下さい (複数選択可)。

- () 任期付き研究員の能力に応じた給与支給額の査定
() 研究予算、給与、研究スペース等の高待遇化
() 人材発掘・スカウト
() 外国籍任期付き職員の採用
() 採用事務手続きの簡素化
() 採用後のオリエンテーション
() WEB や学会誌等への採用情報の掲載
() 任期終了後の就職先の世話
() 特に工夫はしていない
() その他 (具体的に:)

11. 若手研究者育成に向けた現在の課題について、お書きください。また関連してお考えにつきましても自由にお書きください。
()

12. 任期付き研究員制度の導入について、現在の課題についてお書きください。また関連してお考えにつきましても自由にお書きください。
()

～ ご協力ありがとうございました ～

流動促進研究 アンケート調査内容（課題実施者向け）（別添5－2）

平成19年度追跡評価（流動促進研究プログラム）アンケート調査票 ～課題実施者用～

平成9年から平成12年にかけて募集され、3年から5年の期間を研究期間として実施された、科学技術振興調整費による「流動促進研究」プログラムについての追跡評価に向けて、次のアンケートにご協力をお願いします。設問と選択肢、そしてコメント記入欄から成っていますが、各設問の趣旨につきましては選択肢をごらいただき判断いただきますようお願いいたします。

<基本情報>

1. 次の点についてお示しください。

2.

氏名

年齢（現在）

課題実施時の所属

現在の所属

職位

課題修了後の経歴（御所属の動きなど：例 平成 年 月～ 所属—— 職位

平成 年 月～ 所属—— 職位）

<組織へのメリットについて>

2. 参加いただきました振興調整費「流動促進研究」プログラムの実施が組織にもたらしたメリットと考えられる点について、お伺いします。（課題を実施された立場からご覧になった感想としてお答えいただければ結構です。）

- a. 任期制研究員数の向上に： i () 有効であった
ii.() まずまず有効であった
iii.() 多少の効果はあった
iv.() 有効でなかった

i~iii とお答えの機関にお尋ねします。どのような点で効果があったとお考えですか(複数選択可)。

- () 機関における任期付き研究員採用のきつかけとなった
() 機関における任期付き研究員採用動機となった
() 機関における任期付き研究員の認知度を高めた
() その優れた成果より、任期付き研究員採用の増加につながった
() 任期付き研究員志望者数が増加した
() 任期付き研究員応募のきっかけ（要因）となった
() その他（具体的に：)

(コメント：)

- b. 研究所の活性化に： i.() 有効であった
ii.() まずまず有効であった
iii.() 多少の効果はあった
iv.() 有効でなかった

i~iii とお答えの方にお尋ねします。どのような点で効果があったとお考えですか(複数選択可)。

- () 論文・発表等成果の高まりにつながった
() 研究所内研究員間の交流頻度の増加につながった
() 他研究機関との交流頻度の増加につながった
() 他研究機関との共同研究の増加につながった
() 競争的資金獲得の増加につながった

ての経験を積み、厳格な審査を経て安定的な職を得る仕組みをいう）の構築につながった

- () 研究員の評価制度確立につながった
() 研究員の審査制度確立につながった
() 任期付き研究員の処遇に関する制度確立につながった
() 研究員全体の処遇改善につながった
() 研究員一般の人事制度改革につながった
() その他（具体的に：)

(コメント：)

- f. 開かれた競争的研究環境構築に： i () 有効であった
ii.() まずまず有効であった
iii.() 多少の効果はあった
iv.() 有効でなかった

i~iii とお答えの方にお尋ねします。どのような点で効果があったとお考えですか(複数選択可)。

- () 本プログラムへの応募に関し、機関内において課題の推薦プロセスがシステムとして構築された（競争的プロセス）
() 本プログラムの実施に伴い、任期付き研究員の任期満了時における定年制職員への採否に向けて、審査が行われるようになった
() 本プログラムの実施に伴い、任期付き研究員の任期満了時の定年制職員への採否に向けて、審査基準が設定された
() 新規採択において任期付き研究員として、その能力を問う期間を設定するシステムが定着した。
() 波及効果として、評価に向けた（種々）システムが整備された
() 波及効果として、審査に向けた（種々）システムが整備された
() その他（具体的に：)

(コメント：)

- g. 独創的研究の創出に： i () 有効であった
ii.() まずまず有効であった
iii.() 多少の効果はあった
iv.() 有効でなかった

i~iii とお答えの方にお尋ねします。どのような点で効果があったとお考えですか(複数選択可)。

- () 研究費の支給により、自身の独創的なアイデアで自由に研究を実施し得る環境を与えた
() 研究費の支給により、周囲の支援を得つつ独創的な研究を実施し得る環境を与えた。
() 独創的研究実施に向けた研究環境（研究費、育成体制）をもちらした。
() 独創的研究を目指す機運が高まった
() 独創的研究を推進するべく、システムの整備が行われた
() 学会賞などに繋がる独創的研究が増加した
() 海外より講演などに招聘される独創的研究につながる研究が増加した
() その他（具体的に：)

(コメント：)

iv.(有効でなかった)とお答えの方にお尋ねします。どのような理由で有効でなかったとお考えですか（複数選択可）。

- () 外部資金（非競争的）獲得の増加につながった
() 研究設備の整備につながった
() その他（具体的に内容をお書きください：)

(コメント：)

- c. 研究員の国際化に： i () 有効であった
ii.() まずまず有効であった
iii.() 多少の効果はあった
iv.() 有効でなかった

i~iii とお答えの方にお尋ねします。どのような点で効果があったとお考えですか(複数選択可)。

- () 海外籍の研究員採用の増加につながった
() 海外に研究員として移るケースの増加につながった
() 海外留学あるいは派遣される機会の増加につながった
() 海外の機関また研究員との交流の増加につながった
() その他（具体的に：)

(コメント：)

- d. 研究員の流動化に： i () 有効であった
ii.() まずまず有効であった
iii.() 多少の効果はあった
iv.() 有効でなかった

i~iii とお答えの方にお尋ねします。どのような点で効果があったとお考えですか(複数選択可)。

- () 他研究機関（大学、企業等を含む）出身の研究者の増加につながった
() 他研究機関（大学、企業等を含む）に転出（異動）する研究者の増加につながった
() 他研究機関（大学、企業等を含む）との間での人事交流の促進につながった
() 他研究機関（大学、企業等を含む）の研究者との交流促進につながった
() 機関内において部門間またチーム間における人事交流の促進につながった
() 機関内において部門間またチーム間における研究上の交流促進につながった
() 機関内において研究者間の交流促進につながった
() その他（具体的に：)

(コメント：)

iv.(有効でなかった)とお答えの方にお尋ねします。どのような理由で効果がなかったとお考えですか（複数選択可）。

- () 任期満了後、研究所で再任用することが多いため
() 任期付き研究員の採用数が少ないため
() その他（具体的に：)

- e. 人事制度改革に： i () 有効であった
ii.() まずまず有効であった
iii.() 多少の効果はあった
iv.() 有効でなかった

i~iii とお答えの方にお尋ねします。どのような点で効果があったとお考えですか(複数選択可)。

() テニユア・トラック制度（若手研究者が、任期付きの雇用形態で自立した研究者とし

- () 任期が短く、じっくり研究できないため
() 研究予算が十分でないため
() 上司から独立して研究できないため
() 論文数主義に走るため
() その他（具体的に：)

(コメント：)

- h. 若手研究者の育成に： i.() 有効であった
ii.() まずまず有効であった
iii.() 多少の効果はあった
iv.() 有効でなかった

i~iii とお答えの方にお尋ねします。どのような点で効果があったとお考えですか(複数選択可)。

- () 論文発表数の増加（成果の拡大） () 研究レベルの向上
() 発表スキルの向上 () 研究員間の交流の推進
() 共同研究の増加 () 独創的研究の推進
() 論文発表など成果を発表しようとする意識の増大
() 設備等研究環境のベースの構築につながった
() テニユア・トラック制度につながった
() その他（具体的に：)

(コメント：)

- i. 外部研究機関との交流促進に： i () 有効であった
ii.() まずまず有効であった
iii.() 多少の効果はあった
iv.() 有効でなかった

i~iii とお答えの方にお尋ねします。どのような点で効果があったとお考えですか(複数選択可)。

- () 外部研究機関研究員との討議の増加につながった
() 外部研究機関との共同研究の増加につながった
() その他（具体的に：)

(コメント：)

- j. 機関内において、研究員間の交流促進に： i () 有効であった
ii.() まずまず有効であった
iii.() 多少の効果はあった
iv.() 有効でなかった

i~iii とお答えの方にお尋ねします。どのような点で効果があったとお考えですか(複数選択可)。

- () 機関内において研究員間の研究上の討議の増加につながった
() 機関内において研究員間の共同研究の増加につながった
() その他（具体的に：)

(コメント：)

- k. 設備・機器的整備に： i () 有効であった
ii.() まずまず有効であった

- | | | |
|--|--|---|
| | iii.()多少の効果はあった
iv.()有効でなかった | i-iii とお答えの方にお尋ねします。どのような点で効果があったとお考えですか(複数選択可)。
() 他研究機関 (大学、企業等を含む) 出身の研究者の増加につながった
() 他研究機関 (大学、企業等を含む) に転出 (異動) する研究者の増加につながった
() 他研究機関 (大学、企業等を含む) との間での人事交流の促進につながった
() 他研究機関 (大学、企業等を含む) の研究者との交流促進につながった
() 機関内において部門間またチーム間における人事交流の促進につながった
() 機関内において部門間またチーム間における研究上の交流促進につながった
() 機関内において研究者間の交流促進につながった
() その他 (具体的に:)
(コメント:) |
| 1. その他、本プログラムの実施が組織にもたらしたメリットと考えられる点について
下記に自由にお挙げ下さい。
() | | |
| 3. 任期付研究員採用は一般的に、研究所にまた周囲にどのような影響があったとお考えですか | | |
| a. 研究所の活性化に: | i.() 有効であった
ii.() まずまず有効であった
iii.() 多少の効果はあった
iv.() 有効でなかった | iv.(有効でなかった) とお答えの方にお尋ねします。どのような理由で効果が無かったとお考えですか (複数選択可)。
() 任期満了後、研究所で再任用することが多いため
() 任期付き 研究員の採用数が少ないため
() その他 (具体的に:) |
| i-iii とお答えの方にお尋ねします。どのような点で効果があったとお考えですか(複数選択可)。
() 論文・発表等成果が向上した
() 研究所内研究員間の交流が促進された
() 他研究機関との交流が促進された
() 競争的資金獲得が増加した
() 外部資金 (非競争的) 獲得が増加した
() 研究所の国際化に有効であった
() 定年制職員の活性化に有効であった
() 優秀な人材獲得に有効であった
() その他 (具体的に:)
(コメント:) | | |
| b. 研究員の国際化に: | i.() 有効であった
ii.() まずまず有効であった
iii.() 多少の効果はあった
iv.() 有効でなかった | d. 人事制度の改革に: i.() 有効であった
ii.() まずまず有効であった
iii.() 多少の効果はあった
iv.() 有効でなかった |
| i-iii とお答えの方にお尋ねします。どのような点で効果があったとお考えですか(複数選択可)。
() 海外籍の研究員採用の増加につながった
() 海外に研究員として移るケースの増加につながった
() 海外留学あるいは派遣される機会の増加につながった
() 海外の機関また研究員との交流の増加につながった
() その他 (具体的に:)
(コメント:) | | i-iii とお答えの方にお尋ねします。どのような点で効果があったとお考えですか(複数選択可)。
() テニユア・トラック制度 (若手研究者が、任期付きの雇用形態で自立した研究者としての経験を積み、厳格な審査を経て安定的な職を得る仕組みをいう。) の構築につながった
() その他 (具体的に:)
(コメント:) |
| c. 研究員の流動化に: | i.() 有効であった
ii.() まずまず有効であった
iii.() 多少の効果はあった
iv.() 有効でなかった | e. 開かれた競争的研究環境構築に: i.() 有効であった
ii.() まずまず有効であった
iii.() 多少の効果はあった
iv.() 有効でなかった |
| i-iii とお答えの方にお尋ねします。どのような点で効果があったとお考えですか(複数選択可)。
() 競争的環境により独創的な研究の実施につながった
() 独創的研究を目指す機運が高まった
() 独創的研究を推進するべく、システムの整備が行われた
() 学会賞などにつながる独創的研究が増加した
() 海外より講演などに招聘される独創的研究につながる研究が増加した
() その他 (具体的に:)
(コメント:) | | i-iii とお答えの方にお尋ねします。どのような点で効果があったとお考えですか(複数選択可)。
() 任期付き研究員の任期満了時における定年制職員への採否に向けて、研究評価が行われるようになった
() 任期付き研究員の任期満了時の定年制職員への採否に向けて、審査基準が設定された
() 新規採択において任期付き研究員として、その能力を問う期間を設定するシステムが定着した。
() 評価に向けた (種々) システムが整備された
() 審査に向けた (種々) システムが整備された
() その他 (具体的に:)
(コメント:) |
| iv.() 有効でなかった | | f. 独創的研究の創出に: i.() 有効であった
ii.() まずまず有効であった
iii.() 多少の効果はあった |
| i-iii とお答えの方にお尋ねします。どのような点で効果があったとお考えですか(複数選択可)。
() 競争的環境により独創的な研究の実施につながった
() 独創的研究を目指す機運が高まった
() 独創的研究を推進するべく、システムの整備が行われた
() 学会賞などにつながる独創的研究が増加した
() 海外より講演などに招聘される独創的研究につながる研究が増加した
() その他 (具体的に:)
(コメント:) | | ii.() まずまず有効であった
iii.() 多少の効果はあった
iv.() 有効でなかった |
| iv.(有効でなかった) とお答えの方にお尋ねします。どのような理由で有効でなかったとお考えですか (複数選択可)。
() 任期が短く、じっくり研究できないため
() 研究予算が十分でないため
() 上司から独立して研究できないため
() 論文数主義に走るため
() その他 (具体的に:)
(コメント:) | | i-iii とお答えの方にお尋ねします。どのような点で効果があったとお考えですか(複数選択可)。
() 機関内において研究員間の共同研究の増加につながった
() 機関内において研究員間の共同研究の増加につながった
() その他 (具体的に:)
(コメント:) |
| g. 若手研究者の育成に: | i.() 有効であった
ii.() まずまず有効であった
iii.() 多少の効果はあった
iv.() 有効でなかった | j. その他、任期付き研究員採用が組織にもたらしたメリットと考えられる点について
下記に自由にお挙げ下さい。
() |
| i-iii とお答えの機関にお尋ねします。どのような点で効果があったとお考えですか(複数選択可)。
() 論文発表数の増加 (成果の拡大)
() 発表スキルの向上
() 共同研究の増加
() 論文発表など成果を発表しようとする意識の増大
() テニユアトラック制度につながった
() その他 (具体的に:)
(コメント:) | | <課題実施者に対するメリットについて>
4. 振興調整費「流動促進研究」プログラム課題実施によって、ご自身が得られたメリットについてお伺いします。
a) 本プログラムに参加して良かった、とお思いの点についてお教え下さい (複数選択可)
() 予算面ではばかれることなく研究を行い得た
() 自由なテーマ設定が可能となった
() 独創的なテーマ設定が可能となった
() 課題実施者が本プログラムのサポートにより自由に研究を行うことができた
() 本プログラムに参加することにより、任期付研究員として採用された
() 本課題実施によりチャンスを獲得した
() 自身の研究者としての成長に力となった (育成された)
() その他 (具体的に、複数記載可:) |
| h. 外部研究機関との交流促進に: | i.() 有効であった
ii.() まずまず有効であった
iii.() 多少の効果はあった
iv.() 有効でなかった | b) 本課題の実施がご自身の研究者としての成長に有効でしたか(一つお選び下さい)。

i.() 有効であった
ii.() まずまず有効であった
iii.() 多少の効果はあった
iv.() 有効でなかった |
| i-iii とお答えの方にお尋ねします。どのような点で効果があったとお考えですか(複数選択可)。
() 外部研究機関研究員との討議の増加につながった
() 外部研究機関との共同研究の増加につながった
() その他 (具体的に:)
(コメント:) | | i-iii とお答えの方にお尋ねします。どのような点で効果があったとお考えですか(複数選択可)。
() 成果が上がった
() (簡単に) ご説明下さい:
() チャンスを得た、
() (どのような) チャンスが得られましたか:
() その後の研究の基礎となる成果を得た
() その後の研究のきっかけを得た
() その後の研究の指針を得た
() 優れた指導者を得た
() 共同研究者を得た
() 設備等研究環境の構築につながった
() 研究に対する自信・力を得た
() その他 (具体的にお書きください:) |
| i. 研究所内において、研究員間の交流促進に: | i.() 有効であった | |

- (コメント：)

有効でなかったとお答えの方、その理由について自由にお書き下さい。

()

c) 本課題の成果はその後競争的資金獲得に繋がりましたか (一つお選び下さい)。

() 本課題の成果を元に競争的資金を獲得した

() 本課題の成果と一部関連した研究テーマで競争的資金を獲得した

() 本課題の成果とは間接的に関連するテーマで競争的資金を獲得した

() 本課題の成果と関連するテーマの競争的資金は獲得していない

() その他 (具体的にお書き下さい：)

d) 本課題による成果と課題終了後から現在の研究内容について (一つお選び下さい)。

() 課題終了後の研究テーマは本課題の成果がもとになっている

() 課題終了後の研究テーマと本課題の成果は、分野は同じだが間接的な関連しかない

() 課題終了後の研究テーマは本課題の成果とは分野も異なり全く関係ない

() その他 (具体的にお書きください：)

e) 本課題の実施に関連して、その後のご自身のことについて伺います (複数選択可)。

() 国内の学会で自分の研究が注目されるようになったと感じる

() 国際学会で自分の研究が注目されるようになったと感じる

() 国内の共同研究の機会が増えた

() 国外との共同研究の機会が増えた

() 雑誌の解説等の執筆依頼が増えた

() その他 (具体的にお書き下さい：)

f) 本課題の実施が独創的研究の創出につながりましたか (複数選択可)。

() 学会賞などに結びつく独創的研究創出につながった (具体的にご説明下さい：)

() 新たな研究分野創出につながった

() ご自身の研究分野として、学会などで認められる研究 (独創的研究の芽と考えられる) につながった

() 現在も実施している研究のもととなったが、独創性についてはまだ定かではない

() 課題終了後、研究テーマを変え、独創的な研究の創出には至らなかった

() その他 (具体的にお書き下さい：)

g) 本課題の実施と定年制職の関連について (一つお選び下さい)。

() 現在定年制職に就いていない

() 定年制職を得るのに大変役に立った

() 定年制職を得るのに一定の役割を果たした

() 定年制職を得るのに少し関係した

() 定年制職を得るのに全く役に立たなかった

() その他 (具体的にお書き下さい：)

h) 本課題の実施と課題修了以後 (現在を含む) のポジションとの関連についてお答え下さい (複数選択可)。

() 本課題成果の論文発表が認められた

() 本課題成果の国内学会・研究会での発表が認められた

() 本課題成果の国際学会・研究会での発表が認められた

() 本課題成果を元にした競争的資金獲得が認められた

() 本課題成果の特許が認められた

() 本課題成果とは関係ない

() その他 (具体的にお書き下さい：)

<本プログラムの、任期付き研究員制度定着へのコントリビューションについて>

5. 任期付き研究員制度の定着に、本プログラムがどの程度寄与しましたか。

i.() 寄与した

ii.() まずまず寄与した

iii.() 多少の寄与はあった

iv.() 全く寄与していない

i-iii.とお答え以外の方にお尋ねします。どのような点で寄与したとお考えですか、次の中からお選びください(複数選択可)。

() 任期付き研究員採用のきっかけとなった

() 任期付き研究員採用の動機付けとなり採用数を高めた

() 任期付き研究員制度について機関内の認知度を高めた

() 任期付き研究員に採用に向けて、機関内の制度検討につながった

() 任期付き研究員への応募の要因となり任期付き研究員志望数の増大につながった

() 優れた実績につながり、任期付き研究員の採用数を高めた

() その他 (具体的に：)

(コメント：)

<その他>

6. 本「流動促進研究」プログラムについて、優れていたと思われる点をお教え下さい (複数選択可)。

() 予算額が大きいこと

() 予算の使い方において自由度が高いこと

() 研究期間が長いこと

() その他 (具体的に：)

7. 本「流動促進研究」プログラムで配慮が望まれた点をお教え下さい (複数選択可)。

() 予算額が少ないこと

() 予算の使い方において自由度が少ないこと

() 研究期間が短いこと

() その他 (具体的に：)

8. 若手研究者育成に向けた現在の課題について、また若手研究者育成に向けてお考えを自由にお書きください。

()

9. 任期付き研究員制度の導入について、現在の課題と考えられる点、また同制度に関するお考えを自由にお書き下さい。

()

<参考までにお伺いしたい内容：是非お答え下さい>

・本課題を実施されるにあたりその体制はいかがでしたか (誰が課題をリードしたか、等)。

() 課題実施者がほぼ一人で課題を実施した

() 上司の指導を得て課題実施者が実施した

() 上司を中心に (リードにより) グループで実施した

() 課題実施者のリードによりグループで実施した

() その他 ()

・独創的なテーマ設定だったと思いますか。

() 独創的であった

() まずまず独創的であった

() 独創性に乏しかった

(その選択理由など、自由にお書き下さい：)

・課題推進の過程で、課題実施者の独創性は発揮されましたか。

() 発揮できた

() まずまず発揮できた

() 発揮できなかった

(その選択理由など、自由にお書きください：)

4) 課題修了後に発表された成果 (本プログラム課題に由来しない成果も含む) について、お教えください。

・課題終了後に発表された論文数 (概数可) は：

海外誌 () 報 国内誌 () 報

(可能でしたら、雑誌名、発行年、号・ページ、論文タイトル 一覧を添付下さい)

・課題修了後に出願された特許数は：

出願 () 件、うち登録済み () 件

5) 課題実施期間に発表された成果についてお教えください。

・発表された論文数 (概数可) は：

海外誌 () 報 国内誌 () 報

・出願された特許数は：

出願 () 件 うち登録済み () 件

6) 若手研究者を育成するためのシステムについてお考え、またアイデアなど自由にお書き下さい。

()

～ ご協力ありがとうございました ～

平成 19 年度追跡評価（流動促進研究プログラム）アンケート調査票 ～当時の上司の方用～

平成 9 年から平成 12 年にかけて募集され、3 年から 5 年の期間を研究期間として実施された、科学技術振興調整費による「流動促進研究」プログラムについての追跡評価に向けて、次のアンケートにご協力をお願いします。設問と選択肢、そして コメント記入欄から成っていますが、各設問の趣旨につきましては選択肢をご覧いただいて判断いただきますようお願いいたします。

< 基本情報 >

1. 基本情報として、次の点についてお示しください。

氏名
年齢（現在）
課題実施時の所属
現在の所属

職位

< 組織へのメリットについて >

2. 課題実施者を指導いただき、参加いただきました振興調整費「流動促進研究」プログラムに関して、その実施が組織にもたらしたメリットと考えられる点について、お伺いします。

- a. 任期制研究員数の向上に：
- i.()有効であった
ii.()まずまず有効であった
iii.()多少の効果はあった
iv.()有効でなかった

i-iii とお答えの方にお尋ねします。どのような点で効果があったとお考えですか(複数選択可)。

- () 機関における任期付き研究員採用のきっかけとなった
() 機関における任期付き研究員採用動機となった
() 機関における任期付き研究員の認知度を高めた
() その優れた成果より、任期付き研究員採用の増加につながった
() 任期付き研究員志望者数が増加した
() 任期付き研究員応募のきっかけ（要因）となった
() その他（具体的に：)

(コメント：)

- b. 研究所の活性化に：
- i.()有効であった
ii.()まずまず有効であった
iii.()多少の効果はあった
iv.()有効でなかった

i-iii とお答えの方にお尋ねします。どのような点で効果があったとお考えですか(複数選択可)。

- () 論文・発表等成果の高まりにつながった
() 研究所内研究員間の交流頻度の増加につながった
() 他研究機関との交流頻度の増加につながった
() 他研究機関との共同研究の増加につながった
() 競争的資金獲得の増加につながった
() 外部資金（非競争的）獲得の増加につながった
() 研究設備の整備につながった

i-iii とお答えの方にお尋ねします。どのような点で効果があったとお考えですか(複数選択可)。

- () テンユア・トラック制度（若手研究者が、任期付きの雇用形態で自立した研究者としての経験を積み、厳格な審査を経て安定的な職を得る仕組みをいう。）の構築につながった
() 研究員の評価制度確立につながった
() 研究員の審査制度確立につながった
() 任期付き研究員の処遇に関する制度確立につながった
() 研究員全体の処遇改善につながった
() 研究員一般の人事制度改革につながった
() その他（具体的に：)

(コメント：)

- f. 開かれた競争的研究環境構築に：
- i.()有効であった
ii.()まずまず有効であった
iii.()多少の効果はあった
iv.()有効でなかった

i-iii とお答えの方にお尋ねします。どのような点で効果があったとお考えですか(複数選択可)。

- () 本プログラムへの応募に関し、機関内において課題の推薦プロセスがシステムとして構築された（競争のプロセス）
() 本プログラムの実施に伴い、任期付き研究員の任期満了時における定年制職員への採否に向けて、審査が行われるようになった
() 本プログラムの実施に伴い、任期付き研究員の任期満了時の定年制職員への採否に向けて、審査基準が設定された
() 新規採択において任期付き研究員として、その能力を問う期間を設定するシステムが定着した。
() 波及効果として、評価に向けた（種々）システムが整備された
() 波及効果として、審査に向けた（種々）システムが整備された
() その他（具体的に：)

(コメント：)

- g. 独創的研究の創出に：
- i.()有効であった
ii.()まずまず有効であった
iii.()多少の効果はあった
iv.()有効でなかった

i-iii とお答えの方にお尋ねします。どのような点で効果があったとお考えですか(複数選択可)。

- () 研究費の支給により、自身の独創的なアイデアで研究を実施し得る環境を与えた
() 研究費の支給により、周囲の支援を得つつ自立して独創的な研究を実施し得る環境を与えた。
() 独創的研究実施に向けた研究環境（研究費、育成体制）をもたらしした
() 独創的研究を目指す機運が高まった
() 独創的研究を推進するべく、システムの整備が行われた
() 学会賞などにつながる独創的研究が増加した
() 海外より講演などに招聘される独創的研究につながる研究が増加した
() その他（具体的に：)

(コメント：)

() その他（具体的に内容をお書きください：)

(コメント：)

- c. 研究員の国際化に：
- i.()有効であった
ii.()まずまず有効であった
iii.()多少の効果はあった
iv.()有効でなかった

i-iii とお答えの方にお尋ねします。どのような点で効果があったとお考えですか(複数選択可)。

- () 海外籍の研究員採用の増加につながった
() 海外に研究員として移るケースの増加につながった
() 海外留学あるいは派遣される機会の増加につながった
() 海外の機関また研究員との交流の増加につながった
() その他（具体的に：)

(コメント：)

- d. 研究員の流動化に：
- i.()有効であった
ii.()まずまず有効であった
iii.()多少の効果はあった
iv.()有効でなかった

i-iii とお答えの方にお尋ねします。どのような点で効果があったとお考えですか(複数選択可)。

- () 他研究機関（大学、企業等を含む）出身の研究者の増加につながった
() 他研究機関（大学、企業等を含む）に転出（異動）する研究者の増加につながった
() 他研究機関（大学、企業等を含む）との間での人事交流の促進につながった
() 他研究機関（大学、企業等を含む）の研究者との交流促進につながった
() 機関内において部門間またチーム間における人事交流の促進につながった
() 機関内において部門間またチーム間における研究上の交流促進につながった
() 機関内において研究者間との交流促進につながった
() その他（具体的に：)

(コメント：)

iv. (有効でなかった)とお答えの方にお尋ねします。どのような理由で効果が無かったとお考えですか（複数選択可）。

- () 任期満了後、研究所で再任用することが多いため
() 任期付き研究員の採用数が少ないため
() その他（具体的に：)

- e. 人事制度改革に：
- i.()有効であった
ii.()まずまず有効であった
iii.()多少の効果はあった
iv.()有効でなかった

iv.(有効でなかった)とお答えの方にお尋ねします。どのような理由で有効でなかったとお考えですか(複数選択可)。

- () 任期が短く、じっくり研究できないため
() 研究予算が十分でないため
() 上司から独立して研究できないため
() 論文数主義に走るため
() その他（具体的に：)

(コメント：)

- h. 若手研究者の育成に：
- i.()有効であった、
ii.()まずまず有効であった
iii.()多少の効果はあった
iv.()有効でなかった

i-iii とお答えの方にお尋ねします。どのような点で効果があったとお考えですか(複数選択可)。

- () 論文発表数の増加（成果の拡大） () 研究レベルの向上
() 発表スキルの向上 () 研究員間の交流の推進
() 共同研究の増加 () 独創的研究の推進
() 論文発表など成果を発表しようとする意識の増大
() 設備等研究環境のベースの構築につながった
() テンユアトラック制度につながった
() その他（具体的に：)

(コメント：)

- i. 外部研究機関との交流促進に：
- i.()有効であった
ii.()まずまず有効であった
iii.()多少の効果はあった
iv.()有効でなかった

i-iii とお答えの方にお尋ねします。どのような点で効果があったとお考えですか(複数選択可)。

- () 外部研究機関研究員との討議の増加につながった
() 外部研究機関との共同研究の増加につながった
() その他（具体的に：)

(コメント：)

- j. 機関内において、研究員間の交流促進に：
- i.()有効であった
ii.()まずまず有効であった
iii.()多少の効果はあった
iv.()有効でなかった

i-iii とお答えの方にお尋ねします。どのような点で効果があったとお考えですか(複数選択可)。

- () 機関内において研究員間の研究上の討議の増加につながった
() 機関内において研究員間の共同研究の増加につながった
() その他（具体的に：)

- () 独創的な研究が増えた

() 成果が高まった

() チームの活性化につながった

() その他 (具体的に、複数記載可：)

c. 本課題の実施が研究チームとして、その後の研究の展開に有効でしたか(一つお選び下さい)。

i.() 有効であった

ii.() まずまず有効であった

iii.() 多少の効果はあった

iv.() 有効でなかった

i-iii と答えの方にお尋ねします。どのような点で効果があったとお考えですか(複数選択可)。

() 大きな研究成果を得た
(簡単にご説明下さい：)

() 新たな分野の創設につながる研究成果を得た

() その後の研究の基礎となる成果を得た

() その後の研究のきっかけを得た

() その後の研究の指針を得た

() 新たに共同研究機関を得た

() 新たに共同研究者を得た

() 設備等研究環境の構築につながった

() その他 (具体的にお書きください：)

(コメント：)

d. 本課題の成果はその後の研究チームにおける競争的資金獲得に繋がりましたか(一つお選び下さい)。

() 本課題の成果を元に競争的資金を獲得した

() 本課題の成果と一部関連した研究テーマで競争的資金を獲得した

() 本課題の成果とは間接的に関連するテーマで競争的資金を獲得した

() 本課題の成果と関連するテーマの競争的資金は獲得していない

() その他 (具体的にお書き下さい：)

e. 本課題による成果と課題終了後から現在の研究内容の関連について伺います(一つお選び下さい)。

() 課題終了後の研究テーマは本課題の成果がもとになっている

() 課題終了後の研究テーマと本課題の成果は、分野は同じだが間接的な関連しかない

() 課題終了後の研究テーマは本課題の成果とは分野も異なり全く関係ない

() その他 (具体的にお書きください：)

f. 本課題の実施に関連して、その後のご自分の研究チームのことについて伺います(複数選択可)。

() 国内の学会でチームの研究が目されるようになったと感じる

() 国際学会でチームの研究が目されるようになったと感じる

() 国内の共同研究の機会が増えた

() 国外との共同研究の機会が増えた

() 雑誌の解説等の執筆依頼が増えた

() 優れた実績につながり、任期付き研究員の採用数を高めた

() その他 (具体的に：)

(コメント：)

<その他>

7. 本「流動促進研究」プログラムについて、優れていたと思われる点をお教え下さい(複数選択可)。

() 予算額が大きいくこと

() 予算の使い方において自由度が高いこと

() 研究期間が長いこと

() その他 (具体的に：)

8. 本「流動促進研究」プログラムで配慮が望まれた点をお教え下さい(複数選択可)。

() 予算額が少ないこと

() 予算の使い方において自由度が少ないこと

() 研究期間が短いこと

() その他 (具体的に：)

9. 若手研究者育成に向けた現在の課題について、また若手研究者育成に向けてお考えを自由にお書きください。

()

10. 任期付き研究員制度の導入について、現在の課題と考えられる点、また同制度に関する考えを自由にお書き下さい。

()

() その他 (具体的に お書き下さい：)

g. 本課題の実施が独創的研究の創出につながりましたか(一つお選び下さい)。

() 学会賞などに結びつく独創的研究創出につながった
(具体的に ご説明下さい：)

() 新たな研究分野創出につながった

() 学会などで認められる研究 (独創的研究の芽と考えられる) につながった

() 現在も実施している研究のもととなったが、独創性についてはまだ定かではない

() 課題修了後、当該研究テーマは終了とし、独創的な研究の創出には至らなかった

() その他 (具体的にお書き下さい：)

(選択内容についてコメントがあれば追加下さい：)

5. 本課題の実施が課題実施者の研究者としての成長に有効でしたか(一つお選び下さい)。

i.() 有効であった

ii.() まずまず有効であった

iii.() 多少の効果はあった

iv.() 有効でなかった

i-iii と答えの方にお尋ねします。どのような点で効果があったとお考えですか(複数選択可)。

() 優れた研究成果が得られた
(簡単に ご説明下さい：)

() 課題実施者がチャンスを得る機会となった
(どのようなチャンスが得られましたか：)

() 課題実施者にとって、その後の研究の基礎となる成果が得られた、

() 課題実施者にとって、その後の研究のきっかけが得られた

() 課題実施者にとって、その後の研究の指針が得られた

() 課題実施者にとって、共同研究者が得られた

() その他 (具体的にお書きください：)

(コメント：)

iv. 有効でなかったとお答えの方、その理由について自由にお書き下さい。

()

<本プログラムの、任期付き研究員制度定着へのコントリビューションについて>

6. 任期付き研究員制度の定着に、本プログラムがどの程度寄与しましたか。

i.() 寄与した

ii.() まずまず寄与した

iii.() 多少の寄与はあった

iv.() 全く寄与していない

i-iii と答え以外の方にお尋ねします。どのような点で寄与したとお考えですか、次の中からお選びください(複数選択可)。

() 任期付き研究員採用のきっかけとなった

() 任期付き研究員採用の動機付けとなり採用数を高めた

() 任期付き研究員制度について機関内の認知度を高めた

() 任期付き研究員に採用に向けて、機関内の制度検討につながった

() 任期付き研究員への応募の要因となり任期付き研究員志望数の増大につながった

～ ご協力ありがとうございました ～